

### 平成 30 年間での「危機との遭遇」

昭和 46 年(1971)22 歳で日立に入社し、平成元年(1989)は 18 年勤務で丁度 40 歳であった。そして平成最後の平成 31 年(2019)に古稀を迎え、電力機器の開発に携わり激動の 30 年間で「私の平成」である。この関わりは平成で終わらず、50Hz と 60Hz の電力を連携するプロジェクトの完成に向け、未だフルタイムの会社生活を続けている。

電力機器関係の仕事では一旦事故を起こすと、停電と言う社会的な問題に繋がる。予期せぬ事故究明と対策に苦しんだ。また、国際的な技術会議も多く、それらでの一端を紹介する。

平成 7 年(1995)はラッキーセブンの筈であるが、新年早々から NHK の TV ニュースで放映された大事故に遭遇した。この年は「7」「5」「3」が鬼門の年でもあった。

\*1/5(木): 東電/柏崎原発納の 500kV 変圧器が雷撃により絶縁事故<1 回目仏滅>…電気学会全国大会への雷観測論文執筆中(締切に向け出社)、そのまま事故原因究明へ

\*1/17(火): 始発の上越新幹線が発車後遅延。阪神・淡路大震災<3 回目の仏滅>…上記事故報告に柏崎原発に出向く途中。地震の詳細が分からぬまま現地報告会へ

\*3/20(月): 東京サリン事件<3/21 仏滅>…電力機器の海外調達で客と欧米に出張  
オランダのホテルフロントで「TOKIO SARIN」の新聞トップ記事  
“Tokio is not place-name, my first name!”

\*5/23(火): 新榛名 UHV(1000kV)実証試験場にて変圧器の事故<3 次側電圧突上げ試験時第7タ  
ップで事故発生><5/24 仏滅>…現地試験立会にて目前で発生

上記は平成 7 年半年間の出来事であったが、平成では 10 年おきにも危機に遭遇した。

\*平成 3 年(1991)1 月 17 日「湾岸戦争」の直後、国際会議出席にてパリに出張

\*平成 13 年(2001)9 月 11 日「同時多発テロ」の直後、品質監査にてインドネシアに出張  
海外工場での初号機器が米国輸出の前に、今が一番安全と言われ…

\*平成 23 年(2011)3 月 11 日「東日本大震災」は国際会議出席にてベルリンに出張中

電力関係者同行…日本と連絡取れず…職場は倒壊<写真>…帰国後は暫く東京勤務に  
○最後には吉事を一件、私は「昭和の 24 年」生まれであるが、「平成の 24 年」の元日に内孫の男子が誕生した！ (2019 年 2 月記)



4階の執務室が倒壊(私は不在、負傷者無し)  
東日本大震災:平成 23 年 3 月 11 日